

平成25年度 南部町総合地震防災訓練

9月1日(日)に南部町総合地震防災訓練が町内各地で行われ、今年度は生活圏を共にする静岡県富士宮市と県境を越えた相互支援広域合同訓練も同時に実施されました。

町内各自主防災会では選択式自主実動訓練・災害時被害状況報告伝達訓練・住民及び災害時要援護者避難誘導訓練・衛星携帯電話による通話訓練・備蓄資機材、備蓄品確認点検等を行い、訓練手順を確認しました。



蘇生術訓練



初期消火訓練



可搬ポンプ操作訓練



簡易担架作成・搬送訓練



トリアージ訓練



重症者の搬送訓練



静岡県川勝知事、富士宮市須藤市長、富士市鈴木市長と
合同記者会見に臨む佐野町長

合同訓練において南部区では、医療センター駐車場に負傷者を受け入れる救護所を町が開設し、負傷者重症度判定救護訓練（トリアージ訓練）と重症患者を富士宮市内の病院へ防災ヘリで搬送する訓練、文京区では、負傷者を区民の協力で応急手当と担架による搬送を行い、同市の病院へ自衛隊ヘリで救出する搬送訓練が行われました。



防災ヘリによる搬送訓練



負傷者の応急手当訓練



自衛隊ヘリによる搬送訓練



緊急物資搬送訓練



出発式

また、町災害対策本部では、富士宮市から緊急支援物資の搬送要請を受け、後方支援体制を図り、職員及びNPO法人山梨県地震対策四駆隊20台により、同市への物資搬送訓練も行われました。

今後も実践的訓練を積み重ねて実施することにより、地域防災力を向上し、自助・共助・公助のより一層の理解と連携を深め、一人ひとりの意識高揚と、災害応急対策が速やかに行えるよう防災・減災体制の重要性について認識を新たにしました。

ヴァンフォーレ甲府南部町サングスター

8月10日(土)に山梨中銀スタジアムで開催されたJリーグ第20節「ヴァンフォーレ甲府 VS アルビレックス新潟」において南部町サングスターが行われました。

ヴァンフォーレ甲府では、山梨県全域をホームタウンとし、「地域密着型クラブ」への実現に向けて取り組んでいます。ホームゲームでは試合ごとに市町村を割り振りホームタウンサングスターとして開催しています。

内容は、首長による特産品贈呈セレモニー、試合前には南部町の「グリーンマーチング」による応援パフォーマンス、選手入場時に手をつなぎ入場するエスコートキッズ、試合を円滑に進行するためのボール拾い等を行うボールパーソンを行いました。

なかなか入れない競技場内で参加者の皆さんは楽しそうな表情をしていました。



グリーンマーチングによるパフォーマンス



選手と入場しました

チャレンジデー メダル認定証授与式

8月28日(水) 笹川スポーツ財団において『SSFセミナー2013 SUMMER ～スポーツとまちづくり～』が開催され、チャレンジデー2013メダル認定証授与式が行われました。

当日は、全国から多くのチャレンジデー参加自治体がメダル認定証授与式に参加し、南部町も『銀メダル』をいただきました。

多くの町民皆様のご参加・ご協力本当にありがとうございました。



左：南部町担当者・右：笹川スポーツ財団 理事長 小野清子・右から3番目：対戦相手 本別町 担当者 その他各町担当者のみなさん

☆メダル認定証の授与

実施自治体の健闘を称え、参加率に応じて金・銀・銅のメダル認定証を授与。

金メダル 参加率61%以上
銀メダル 参加率35%以上
61%未満

銅メダル 参加率35%未満
となっており、南部町は参加率58.3%でしたので、「銀メダル」の授与となりました。



100歳お誕生日おめでとう

柳島の小泉なかさんが100歳となりました。

小泉 なかさん

大正2年8月1日生まれ

身延町和田出身

昭和11年4月23日、柳島の小泉子朗さんとご結婚され、子どもを7人授かりました。

現在は週3回デイサービスに行っており、元気に過ごしています。

本当におめでとございます。



小泉なかさん

衣類の回収実績

7月8日(月)より本庁舎と分庁舎に衣類等の回収ボックスを設置しました。衣類等のリユース回収は町民皆様のご理解ご協力により7月、8月の2ヶ月間で約3トンの回収が出来ました。

これらの家庭から出た、まだ使える衣類等は主に中古衣類として海外で使用する、次の利用者の方の役に立っているとともに資源の節約と処理費用の削減につながっています。

今後も皆様のご協力をお願いします。



分庁舎の回収ボックス



本庁舎の回収ボックス

交通事故からあなたの未来を守る 自賠責保険・自賠責共済

無保険(無共済)での運行は犯罪です!

交通事故死による死者数は年々減少傾向にあるものの、平成24年の事故発生件数は約67万件、死者数は約83万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっています。

交通事故は社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠責保険・共済は、すべての自動車の保有者に、自動車1台ごとに加入が義務づけられており、基本的にすべての加害者の賠償責任を担保することにも、すべての被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の保護を目的としています。

一人一人が、より一層自賠責制度の役割・重要性や、保険金・共済金の支払いの仕組みなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

自賠責保険・共済なしでの運行は法令違反です!

自賠責保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務づけられており(自動車損害賠償保障法)、自賠責保険・共済なしでの運行は法令違反ですのでご注意ください!
四輪車ももちろんですが、特に、車検制度のない250cc以下のバイク(原動機付自転車・軽自動車)は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意を!

なお、自賠責制度の詳しい内容は、<http://www.jibai.jp/>をご覧ください。

今月ゴミの分別状況【環境センター】

単位: kg

区分	ペットボトル	ミックス紙	プラスチック容器包装類	可燃ゴミ	総収集量
H25年7月	1,900	5,120	5,570	118,420	131,010
H25年8月	2,780	6,740	7,040	126,640	143,200
H24年8月	2,930	6,600	8,340	106,100	123,970

H24年8月とH25年8月を比較すると19,230kg増えています。

H25年8月と7月を比較すると12,190kg増えています。

お願い: 生ごみの水切り及びミックス紙・プラスチック類の分別をお願いします。